

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1073100420		
法人名	有限会社一陽		
事業所名	グループホームマゼンタ		
所在地	群馬県邑楽郡大泉町寄木戸106		
自己評価作成日	平成31年2月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日	平成31年3月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町や地域のイベント時に利用者様と一緒に参加させて頂き、その中で楽しみや自分が出れる事を見つけ、生き生きとした生活を送っていただくよう支援しています。施設内では季節事の行事や慰問ボランティア・近隣の幼稚園児によるお遊戯披露 中学校演奏部の皆様による演奏会などを開き利用者様が日々楽しく過ごせるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

介護のことなら相談してほしい、災害時には地域の方の協力が欠かせないと考え、地域とのつながりを大切に取り組んでいる。町の行事への参加、こども園や職場体験の受入れのほか、事業所前のコミュニティーバスの停留所で待っている人と会話をしたり、近所の方からじゃがいも収穫のお誘いをいただき利用者とともに出かけたり、散歩ボランティアに来ていただいたりと、地域との日常的な交流が行われている。職員は一人ひとりの支援を検討するなか、運営についても意見を出し合い、業務の流れを改善するために記録を検討したり、水を節約するためのシャワーヘッドの購入などが行われている。また、「改善提案書」により意見が検討され、結果もフィードバックさせる仕組みとなっている。その他、事業所内には、資質向上委員会、広報委員会があり、2か月に1回の研修会を開催し、運営に生かしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護理念を読み上げ申し送りに入る 読み上げるだけではなく日々の介護に反映するよう努力しています。	理念を申し送り前に読み上げ、意識づけを図っている。日々の業務で理念を実践できるよう月1回の主任会議やカンファレンスで日々の支援について話し合っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町や地区のイベント事には、お声を掛けていただいております。施設側としても町のお祭りでは休憩所として一部開放しています。	介護のことなら相談にのれる場所として、災害時には協力をいただけるよう、地域とのつながりを大切に考えている。地域の祭りへの参加、事業所敬老会への参加呼びかけなど、行事を通じたつながりと共に、保育園児・幼稚園児、中学生との交流や散歩ボランティアの受入れなど日常的な交流を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	大泉町社会福祉協議会様より講話の依頼を受け地域の人たちに、認知症介護についての講話をさせていただきました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		2ヶ月に1回開催し、報告のほか、職員雇用についてなどを議題にして話し合っており、参加メンバーからの質問に説明を行っている。会議では、ヒヤリハット事例について説明したり、利用者で作った手作りおやつを提供するなど、事業所での利用者の生活の様子などを知ってもらうようにしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町の担当者様には施設内の問題点等、日頃からご相談させて頂いております。	町担当者や社会福祉協議会には、利用者家族の問題について相談し、対応を検討するなど、連絡を密にしている。そうしたなか、講演依頼を受けたり、民生委員の見学を受け入れたりしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正委員会を立ち上げ身体拘束廃止に取り組んでおります。玄関の施錠に關しまして建物の都合上、死角になりやすい場所に玄関があり解錠のままでは、気付かないうちに屋外へ行かれ事故やケガ等の恐れがあるので施錠しています。	2か月に1回の内部研修のなかで、身体拘束についての研修も行っている。職員からの具体的な行為についての質問に回答するなど、共に考えていく姿勢がある。玄関は施錠しているが、外出希望がある方にはその都度外出の機会を設けるなど、気分転換を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の状態観察、入浴時の全身の状態観察をし異常があれば早急に医務・管理者に報告しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や入居前の相談時にご家族様に疑問や不安点を尋ね、説明を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に意見箱を設置しており、意見や要望に応えられるようにしております。	意見箱を設置している。運営に特化して意見聴取を図る意識はないが、面会時には利用者の状況を報告し、ときには写真で日頃見ることのできない表情をみてもらいながら、意見聴取を図っている。事業所行事の話の中で、模擬店参加協力など家族からの意思表示も聞かれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主任会議やカンファレンス等で現場からの意見や要望があればそれに対する対応をしている。改善提案書があり、どのような事でも提案書に記入し日々の改善に努めている。	月1回の主任会議やカンファレンスで、職員からの意見をもとに、業務の流れの改善(入浴日の変更)、記録の変更などが行われている。その他、「改善提案書」が休憩室にあり、書式には回答欄もあり検討の結果がフィードバックされる仕組みとなっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社会研修を2ヶ月に1度開催し職員一人一人のレベルアップにつなげている、勤務上参加できない職員もいるので、2日間研修日を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメント時に困っていること・不安な事・得意な事・好きな事を聞き安心して過ごせるよう、関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント時に困っていること・不安な事・要望等を聞き安心できるよう関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント時に、ご本人様・ご家族様に現時点で必要とする支援を話し合っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様が生活の中で、出来る事を無理をしない程度に手伝って頂いています。(洗濯物干し・たたみ・園芸・掃除など)		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に状態やご本人様が望んでいる事などを報告しており、居室や離れたホールで家族だけの時間も提供できるようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている		家族を通じて、友人や昔の職場の仲間が面会に訪れたりしている。また、出かけた際には、住んでいた地域を車で走ってみたり、近所の方からのじゃがいも収穫のお誘いに出かけてみたり、慣れ親しんだことを通して、いきいきとした活動の場を設けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者様同士の仲介に入り、会話やレクなど楽しめるように声掛けをしております。席の配置も仲の良い方と近い配置に、座れるようにしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントやモニタリング等により、ご本人の希望や状態を把握して検討しております。	入居時に、利用者・家族から聞いて、油絵を描いていた方には絵がかけられるようにしたり、買い物好きな方には買い物を手伝っていただいたり、入居後も継続してできるように支援している。日々利用者の精神状態に伴い気持ちに変化するので、その都度表情なども観察して、申し送りで情報共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時、ご本人様やご家族様に話を聞き今までの生活歴や暮らし方などの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は利用者様一人一人の心身状態の情報を共有し把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングなどで、今現在の心身の状態などを話し合い介護計画作成に取り組んでいます。	利用者・家族の意向を聞き、ケアマネージャーが介護計画を作成しており、2~3か月ごとに職員の意見を聞きモニタリングを行い、見直しにつなげている。日々の申し送りはちょっとした変化も伝えるようにしており、カンファレンスにおいても活発な話し合いを行っているが、介護計画に沿った日々の個別記録には至っていない状況である。	介護計画を意識したケアが、日々の記録に反映できるよう、介護計画を意識した記録の検討を期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子などケース記録に記入し情報を共有し実践や計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の心身の状況などを把握し、ニーズに対応をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様やご家族様の希望される医療機関への受診や連絡等の支援をしています。	家族の意向で、受診する医療機関の選択ができ、事業所の協力医の往診、これまでのかかりつけ医の受診が行われており、受診付き添い対応についても説明を行い、意向を聞いている。身体状況の変化には、看護師もしくは医師へのオンコール体制がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	心身の状態の変化が見られた場合、速やかに看護師へ連絡し、適切な受診や看護を受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人様が入院した際は、その医療機関の相談員と情報交換や相談などに努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご家族様へ医療を含めた看護・介護職員と話し合い、事業所で出来る事を説明しながら今後のケアに取り組んでいます。	重度化した場合や終末期のあり方については、事業所は家族の希望を受け、看取りを行う方針であり、入居時に、事前確認書で、最後をどこで迎えたいか等の希望を聞いている。あくまで現在の気持ちと捉え、その後状況変化においても確認を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回行い、1回は夜間想定での訓練としています。消防署員も来られ、訓練後に総評もいただいております。地域の「防災の集い」という行事にも参加させて頂いております。	年2回昼夜想定での避難訓練を行い、夜間想定においては、勤務職員以外の職員は自宅から駆け付ける想定で行うなど、避難できる方法を検討している。緊急時には、区長・公民館長も連絡網に入っており、訓練時にも参加がある。その他、地域の防災の集いに利用者とともに参加している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている			声かけは、馴れ馴れしくないことを前提にしているが、堅苦しさを感じさせないようにしている。呼称は、さんづけを基本としているが、家族からの要望をふまえ「先生」と呼びするなど、その人を尊重した呼び方に配慮している。状況によって同性介助にしたり、「座薬」などの言葉は他の利用者に聞かれないように注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の着替え等、ご本人様の意思で決めてもらっております。判断が低下している方には、職員と一緒に声掛けしながら行っております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日をどのように過ごしたいかの確認は取っていませんが、利用者様の希望に添えるよう支援しております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	昔から、お化粧などをされていた方には、ご家族等と話し合い、ホームでもなるべく継続しておしゃれなど出来るように支援しています。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の出来る事を見極め、食事前のテーブル拭きや、食事の準備などを一緒に手伝っていただいています。		献立と食材は外注であり、利用者は配膳や片付けなどを行っているが、献立については利用者の好き嫌いやアレルギーを伝え変更したり、月1回は外注ではなく季節の行事にあわせた独自の献立を考え、利用者と一緒に作っている。その他、クッキーやようかんなどのおやつづくりを楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量のチェックは日々行っております。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛け、介助を行っております。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自分でトイレが出来るが歩行が不安定な方は、居室にポータブルトイレを設置しております。	ズボンを下すことができるがあげることができないなど、その人の状況に合わせて、できることはしていただくようにしている。車いす利用者の方もトイレにつかまり立ちをしていただき、トイレで排泄できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	午前中の体操や、レクリエーションに参加してもらい少しでも体の運動を日々するようにしております。水分量にも気を付け少ない方には、その人が好む飲み物等で補うようにしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている		最低週2回は入浴していただき、外からは見えないうちのよい浴室で広々とした景色を眺めながら、「もう少し入るかな」の希望にそい、ゆっくり入浴していただいている。ボディシャンプーではなく好みの石鹸、洗い方など、一人ひとりの好みに合わせて楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分で居室に戻れない方や理解できない方には声掛けをして居室にて横になって休む時間を作るようにしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更や新しい薬が処方された場合には、申し送りを必ず行い、カーデックスなどにも反映しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人に合った役割や(掃除・洗濯物等)楽しみ事や気分転換等ができるように、声掛けや見守りを行っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様にも、出掛ける日時・場所を伝えて、一緒に買い物やお出掛けが出来るようにしています。	玄関前の自販機の前には長椅子を配置して外気にあたる場所づくりと散歩が行われている。その他、花見やショッピングセンター・ペットショップなど、利用者が楽しめる外出を企画し、ご家族に日時や場所を伝えることで、家族と過ごす機会をつくっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と一緒に買い物に行き支払いは、ご本人に支払いをお願いしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持している方は、自らが家族様や知人の方へ連絡しています。 ご家族様から施設に電話があった場合、ご本人様に電話を代わりお話をしてもらっています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やホールなどに季節の花(造花)などを利用者様と一緒に飾り季節感を味わう工夫をしています。	テレビではなくて、音楽をかけることで、ときに歌を歌ったり、手拍子が出たりなど、変化をもたせ身体を動かすきっかけになればと考えている。職員の提案により玄関前に花を植え利用者が水やりをする機会としたり、こいのぼりやクリスマスツリーを作り季節を感じるようにしている。排泄介助後の臭いには、消臭剤を使用して注意している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者様同士の席の配置、自室にて一人の時間も提供できるように声掛けをし誘導もしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、ご家族様に本人が使い慣れた椅子やタンス・家族の写真など、ご本人様が落ち着けるような居室作りを、お話しています。	居室は、限られた空間ではあるが、ベッドの配置など好きなようにしていただき、タンスや洋服ハンガーなど好きなものを持ち込んでいただいている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や廊下の掃除、洗濯物干し、洗濯物たたみなど、その人が出来る事を無理しない程度に手伝っていただいております。		